



ぶどうのいえだより

編集・発行:大隈 廣 〒113-0032 東京都文京区弥生 1-3-12
TEL 03-3818-3362 FAX 03-3818-3392



No.80 2019 年 夏

昨年 10 月からの事務局の引継ぎと助走期間を経て、本年 2 月から事務局長を拝命しました。ふつつかものですが、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

過去には企業に 40 年間籍をおいでしておりましたが、その後縁あって 60 歳代半ばから社会福祉法人の理事に就任しました。4 年間の事務長任期中に多くの方々のご支援とご助力を頂き、認定こども園（保育園と幼稚園の併設）の設立認可と園舎建設を実現することができました。

一区切りが訪れてやれやれといった矢先、ぶどうのいえ西田恵子理事からお声をかけていただき、現在に至った経緯がございます。

さて、暫くしまして改めてぶどうのいえを眺めますと、錚々たる諸先輩方が、計り知れない熱意と弛みない努力の中に築き上げてこられた「難病の子どもとその家族のための滞在施設ぶどうのいえ」は、正直私にとってそのすべてが新鮮で、驚きでした。

先ずその最たるものは、年間を通して日曜日と年末年始の数日間を除く連日、日常の運営を支え続けてこられた各曜日、担当のボランティアの皆様のご尽力でありましょう。

施設利用の案内から受付業務、出納事務、館内や滞在室への目配り、はては滞在者様によっては慣れない東京の地理についてのきめ細かいアドバイスまで、まさに痒いところに手の届くケアには目を見張るものがあります。

そればかりではありません。ボランティアお一人お一人が、夫々ご自身の得意な分野で自発的にチャリティーの働きをなさっておられます。

ぶどうのいえの存立はひとえにこのようなボランティアの皆様の尊い志と、その働きによって連綿と営まれているのだということ。この理解が無ければ、多分これから担当する

事務局の仕事は空回りしてしまうに違いない…ということに気づかぬわけにはまいりませんでした。

もっと申せば、事務局とはボランティアの皆様を絶えずサポートする機能そのものなのだ、ということでありましょう。

事務局としての仕事には行政対応、具体的には官庁への様々な申請、届出、報告等々の業務があり、会計や金融機関との取引も含まれます。しかし、そうしたことも、結局はボランティアの皆様のお仕事があってこそ初めて意味を持つものであるといっても過言ではありません。

ぶどうのいえの一員に数えていただくことは、私にとって真に誇らしいことであります。

言えない不安や心配のなかにおられる方々に、出来るだけ小さなご負担の範囲で少しでも安らぎの中にお過ごしいただけるよう、今後もぶどうのいえのスタッフ一同、誠意をもって対応させていただきたいと存じます。

そのためにも、微力ながら事務局としての精一杯の努力をさせていただくつもりであります。

早いもので、半年が経過いたしました。未だ新人の緊張感から解放されることはありません。しかし同時に多少開き直って申せば、今後もこの緊張感を失うことがあってはならないものと考えております

(ぶどうのいえ 事務局長)

ぶどうのいえと出会って

木村 義介

「こころの歌くいのち」の話」

日 時：6 月 15 日（土） 14：00～16：00 （会場 13：30）

場 所：東京聖テモテ教会ホール



「ライブ＆トーク」を終えて

清水 透

6 月 15 日の土曜日、雨にもかかわらず、多くの方々がライブ＆トークに集まってくださった。中学の同級生、40 年近く前の卒ゼミ生、メキシコ留学時代の知人、ボランティア活動の仲間、写真仲間、歌仲間舞台「友情」の演劇仲間など。もちろん、「ぶどうのいえ」を支えるボランティアの皆様、そしてお一人、滞在者をご参加くださったことも嬉しかった。

多忙を極めるピアニスト花井研さん、友情出演の渡辺千枝さんも、一つ返事でボランティア出演を引き受けてくださった。ご来場くださった方々からは、こんな施設があることを知るいい機会だったとの感想も届く。つくづく多くの方々の友情に支えられていることに、心から感謝。イベントを終えた今、爽やかな気分になっている。

「ぶどうのいえ」は僕にとり馴染みの場所だ。ボランティアとしてここで活躍されている岩竹さんは大学時代の友人。その関係もあって、かつて講演をさせていただいた。会報にも 2 回エッセイを書かせていただいた。「教会の集まりにも、これくらい多くの方が集まってくださると嬉しいのですがあー！！」と、当時の牧師様の軽妙なお話ではじまった落語会も忘れがたい。写真仲間の一人、作井邦夫さんのハワイアン・バンドのコンサートも同じ会場だった。生前の元気な彼の演奏姿に接した最後の機会だった。

歌の合間に 30 分ほどお話をさせていただいた。テーマは二つ。最初にお話したのは、「ぶどうのいえ」の存在が、患者・患者家族にとり、いかに貴重かだ。

この施設ができた 1995 年。1 月には阪神淡路大震災が、3 月にはオウム・サリン事件が、そしてこの二つの大事件をはさんで 2 月には、丸 2 年の闘病のすえ、23 歳の娘が旅立った。わが家にとり魔の一年ともいえるこの年、「ぶどうのいえ」の創設は、一筋の希望の光だった。

患者さんにとっても、ご家族にとっても、病室はプライバシーを奪われた空間だ。一時外泊が許されても、自宅が遠ければホテルを利用する以外にない。救急車に乗った経験のある方はお分かりだろう。寝かされたまま車に乗れば、わずかなカーブもつらい。内臓すべてが右へ、左へと揺れ動き、なんとも気分が悪い。静かな病室のベッドに慣れてしまった長期闘病者にとっては、寝たままの車での移動は、耐え難いものに違いない。

入院一年半を過ぎた頃だと思う。一時外泊が久しぶりに許された。細菌が少しでも少なくなるようにと、絨毯も新品に買い換えて、娘の帰宅に備える。でも、ほんの数時間自宅のベッドで休んだあと、「病院へ戻りたい」と娘。つらい思いをさせてしまった。急遽連絡し、その日のうちに病院へ。「ぶどうのいえ」のような施設が病院の近くにあれば、どれほど助かったことかと、今にして思う。

もう一つ、皆様にお伝えしたかったのは、病気といかに向き合うかの問題だ。ある年齢に達すれば、体力の衰えは当たり前。視力の衰えにはじまり、腰に、脚の関節に、血圧に・・・と、問題は拡大する。40 年近く通い続けたメキシコの先住民社会でのフィールドワーク、そして、暇

をみつけては続けてきた山での樵仕事。そのおかげか、体力には自信があった。その僕を突然襲ったのが、心筋梗塞と臨死体験。2015 年の秋、72 歳の時だ。2017 年 3 月には肺腺癌で右上葉の摘出手術、7 月には心房頻脈でアブレーション手術（正常な脈拍を乱している心筋を焼ききる手術）、そして今年 4 月には脳へ転移した癌の放射線治療、さらに再発した心房頻脈の手術とつづいた。さすが、突然の心筋梗塞の発作には驚いたが、4 分ほどの臨死体験、今思えば貴重な経験だった。一度あの美しい世界を見てしまえば、もう死は怖くない。肺癌も癌の転移も心臓病も、生きている証のように思えてくる。僕一人、不幸に襲われたわけでは決してない。告知されたときも、「オー来たか!」、転移のときも「オー、やっぱり!!」と、極めて冷静に受け止めた。すべて、初期段階で見つかったことは、むしろ幸運だったといえる。全面的に信頼できる医師との出会いも運が良かった。

臨死体験からの 3 年半、僕の人生のなかでこれほど効率よく、充実した時はなかったと、つくづく思う。本も書けた、東京新聞の連載エッセイも実現した、ライブも何回もこなした。楽しいこと、やるべきこと、やりたいこと、あくまでもそれが中心で、合間に検査と治療を挟みこんで生きてゆく。

「その時までどれくらいハッピーでいられるかが勝負だよな。」
病床で語った娘のことば、これからも大切にしていきたい。



- 曲目
- ・ 五月のパリが好き
 - ・ 青葉城恋唄
 - ・ 故郷の山
 - ・ 白いバラ
 - ・ 子どもを抱いて
 - ・ 太陽は燃えている
 - ・ バラ色の人生
 - ・ マイウエイ
(アンコール)



大掃除ボランティア

羽深 由美子

毎月第3水曜日の午前中は大掃除の時間です。メンバーは現状6名。キッチン、ダイニング、トイレ、廊下、階段の他に、集まった人数に応じてエアコンや換気扇、おもちゃなどを清掃・消毒しています。特に、患者さんを支えるご家族さんが健康を害されては困りますので、台所は衛生面が保てるように念を入れています。

ところが、1か月振りの掃除だというのに、どの流しも使った跡が無いほどきれいだったりすると、「体に良いお食事ができているのかしら」と、看病に明け暮れている長期滞在の方が気にかかってしまいます。そういう訳で、よくよく使った台所の時には、こちらも元気をいただけて、自然と掃除にも張り合いが出るというものです。

時には「テーブルに熱い鍋を直置きしたような真っ白い跡、どうしよう」とか、難題もあります。たまたまオーブントースターに大量発生していた魚臭い廃油で磨くと、たちまち白い変色が消えたのですが、試しに新しいサラダ油で試してみても効果は今ひとつ。この不思議な発見には一同大笑いでした（もちろんオーブントースターもテーブルも魚油はきれいに落としましたヨ）。こんな調子で笑いの絶えないナイスミドルたちが大掃除ボランティア、頑張ってます。



★ ありがとうございます

寄付・会費の方々

(順不同・敬称略)

新生礼拝堂 飯田満喜子 大久保えま子 樫山真知子 吉田昭子 橋本恵理子 本井純子 磯貝敏幸 川村英男 小田原聖十字教会日曜学校花園幼稚園 木村義介 山田耕一 山形寿太郎 戸倉敦 日立キャピタル(株) 日立金属(株) 日立建機(株) (株)日立製作所 (株)日立ソリューションズ (株)日立アーバンインベストメント (株)日立システムズ (株)日立保険サービス (株)日立物流 (株)日立国際電気 (株)日立ハイテクノロジーズ 中村秀夫・美穂 大滝留理子 大阪聖アンデレ教会 賀来秀文 野島千恵 岡野峻 中川直美 藤井野百合 大阪聖アンデレ教会 匿名 東松山聖ルカ教会 東京聖テモテ教会ケーキ班 堀楚乃子 早川和子 磯部雄彦 別所文雄 山本敏子 福室美和子 長尾由紀子 中川李枝子 岡村美和子 松崎加寿子・健三 榊まゆみ 小野祥子 尾松純子 志村弘子 匿名 石田寿満・きよみ 久須美康徳 藤木和男 矢崎美昭 佐藤一男 田中芳子 櫛田桃代 小口淳子 山形寿太郎 酒井三貴子 渡辺眞理子 西村翠・亮平 上床道子 野口さだ子 福地桂之助 萩田恭代 浄土宗定泉寺 山添英子 福井和彦 門野倬也 匿名 匿名 松田道子 清家絢子 小林力 澤砥正美 青井雅美 大野いま ミニバザー 桑田芳郎 渡辺修一 山内隆史 保浦卓也 保浦泉 及川陽 レーマン幸子 西野るり子 椎橋照子 岡村ゆき子 樋口扶美子 立教女学院小学校 宮本順子 田中応佳 丸田研一 川合ナオエ 吉田雅江 柴和子 木村美樹枝 長松康子 住吉秀一 山野上素充 大滝豊 倉田静江 畑井正春 中澤洋子 堀江真理子 戸村祐宇子 杉山三郎 松代静江 織田恵子 吉田あこ 中岡正子 野口さだ子 かあかのおうち 奥野央人 奥野貢 鈴木範子 渡辺洋子 矢代捷 入部瞳 宮川和子 森淑子 鈴木洋二 加藤誠 西平心華子 岩竹節子 中島和子 長尾トシ 水之江光佐子 馬場良子 吉井恭子 中川喜代 本井純子 小林幸子 藤田満智子 片岡大造・仁枝 小川弥生 橋本真美子 石渡康弘 清水玲子 匿名 宮崎なを 三浦優子 清水透 浦和諸聖徒教会 棕尾薫 関口一清 國吉礼子 小川昌之 柳沢昌子

(2019・3・1～2019・6・30)

★ ありがとうございます

寄贈品

(順不同・敬称略)

長内英樹(レトルト食品) 藤村朋子(タオル) 長内英樹(キャロットジュース) 竹内朋子(バザー用品) アンジー(バザー用品) 関谷隆一・礼子(バザー用品) 宮崎光平(食品) 長内英樹(茶葉) 吉田和子(食品等) 長内英樹(新茶) 大津三男(バスタオル) 入部瞳(雑貨) 高木りゅう(食品) 小林郁子(食品)

(2019・3・1～2019・6・30)

お知らせ

車いす体験講習会

車いすを使っている人の介助をしたことがありますか？
この講習会では、社会福祉協議会より指導者を派遣してもらい、
地域の方々や教会のメンバーの交流を通して車いす操作や介助方
法を学び、障がい者への理解を深めます。たくさんの方々のご参
加をお待ちしております。

日 時：2019年9月1日(日)午後2時～4時

場 所：東京聖テモテ教会 東京都文京区弥生 1-3-12

お話し：文京区肢体障害者福祉協会会長

小西慶一氏

お知らせ

秋のバザー

2019年10月20日(日) 11:30～14:00

9月になりましたら献品を受け付けます。

衣類は子供用のみです。よろしくお願いします。

お知らせ

語りの会 尾松純子 語りの世界

2019年12月14日(土) 午後

場所：東京聖テモテ教会礼拝堂

詳しくはイベント事務局へお問い合わせ下さい。

イベント事務局 鶴飼良機 Tel: 03-6205-5531

編集後記

今年の夏は西は暑く、東は冷夏でしたが、7月も終わり頃急に全国的な猛暑となりました。
ぶどうのいえも布団の入れ替えを急ぎました。

これからは蚊の侵入を防ぐなど、感染症対策が必要です。皆さまもどうぞ、ご自愛下さい。

(編集 西田 堀内紀)

認定 NPO 法人 ぶどうのいえ

ホームページ <http://www.budounoie.jp/>

E-mail info@budounoie.jp

郵便振替口座名 特定非営利活動法人ぶどうのいえ

郵便振替口座番号 00120-2-540161